

外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「腹腔鏡下虫垂切除術および腹腔鏡下胆嚢摘出術における協働型助手ロボット（ANSUR サージカルユニット）の有用性に関する検討」への協力をお願い

外科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2023 年 1 月 1 日から 2025 年 6 月 14 日の間に、外科で虫垂切除術または胆嚢摘出術を受けた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2030 年 6 月 14 日

研究目的・利用方法：

現在、腹腔鏡下手術は虫垂切除術や胆嚢摘出術の標準治療となっていますが、近年、さまざまな手術支援ロボットが開発され、虫垂切除術や胆嚢摘出術に対してもロボット支援下手術も行われるようになりました。当科では、2023 年 2 月に承認された腹腔鏡手術支援ロボット（ANSUR サージカルユニット）の導入しました。ANSUR サージカルユニットは、通常 2～3 人で行う助手やスコープオペレーターの業務を 1 台のロボットが行うことにより、外科医 1 人で腹腔鏡手術を行うことが可能となります。また、ロボットにより安定した姿勢でスコープを保持し、組織を把持することができるため、より効率的な手術が可能となり、手術時間の短縮、患者の身体への負担の少ない医療を提供することもできる可能性が期待されます。本研究では、虫垂切除術と胆嚢摘出術を受けられた患者さんの治療成績を比較・検討して ANSUR サージカルユニットの有用性を評価することで、現在問題とされている外科医の人数不足への解決の一助となり、地域医療の充実と医師の働き方改革にも貢献することが期待されます。。

研究に用いる試料・情報の項目：

以下の項目について、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

評価項目

年齢、性別、身長、体重、Body mass index (kg/m²)

併存疾患：糖尿病、高血圧症、その他併存疾患

病理組織学的検査、TNM 分類

術前術後の血液検査：白血球、リンパ球、好中球、単球、ヘモグロビン、血小板

術前術後の生化学検査：TP、アルブミン、ALP、LDH、CRP、クレアチニン、HbA1c、

術前の画像検査

術前治療の有無・内容

ASA、術式、手術時間、術中出血量
術後合併症の種類・程度（CD 分類）・治療期間
予後：再発・転帰

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：研究実施許可日以降から

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、松波総合病院医療倫理委員会において審査、承認され、所属長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び松波総合病院に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

松波総合病院 外科
氏名：東 敏弥

連絡先

松波総合病院 外科
電話番号 058-388-0111
氏名：東 敏弥